

スポーツ少年大会 「JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH 2026 ISHIKAWA」

8月8日～11日に石川県で開催されたスポーツ少年大会「JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH 2026 ISHIKAWA」に秋田県代表として市スポーツ少年団から団員5名と指導者1名が参加しました。大会ではそれぞれ班に分かれ、対抗リレーや大縄跳び、ニュースポーツ体験などのスポーツ活動に加え、文化財指定庭園である兼六園巡りや金箔貼りなどを体験し、石川県の文化を学ぶことができました。

写真左から鈴木内ランナースポーツ少年団所属の浅利結花さん、きたうらバレーボールジュニアスポーツ少年団所属の齋藤和さん、大楽悠乃さん、畠山芽依さん、藤井七絆さん、大石美幸指導者です。



第28回田沢湖地方猟友会クレー射撃大会

8月14日、田沢湖射撃場で有害駆除等安全と技術向上の一環としてクレー射撃大会が開催され15名が出場しました。

【大会の結果】(15枚×2ラウンド 敬称略)

- ▶優勝 佐々木しのぶ 24枚 (ハンデ5)
- ▶準優勝 坂本博美 21枚 年齢上位 (ハンデ1)
- ▶第3位 藤元一成 21枚



写真左から坂本さん、佐々木さん、藤元さん、真崎会長。

東北・北海道ボディビル・フィットネス選手権

8月22日、あきた芸術劇場ミルハスで「東北・北海道ボディビル・フィットネス選手権」が開催され、北海道と東北各県から約180名の選手が各カテゴリーに出場しました。

メンズフィジーク部門168cm以下級には、田沢湖生保内の倉橋大地さんが出場。鍛え上げた身体とポーズで、初優勝を果たしました。

昨年は同部門で2位だった倉橋さん。地元秋田での雪辱を胸に1年間トレーニングを重ね、念願の頂点をつかみ、「昨年第2位だったので、地元秋田でリベンジすることができてホッとしています」と喜びを語りました。

今回の優勝により、来年開催されるオールジャパンへの出場権も獲得。次なる舞台では、全国の強豪を相手にさらなる上位進出を目指します。

「今回の結果に満足することなく、さらに高みを目指したい」と、次なる挑戦を見据えています。



各分野で活躍された皆さまをご紹介します

〈敬称略〉

ECC 中学生英語暗誦大会秋田県大会



左から、大澤さん、石郷岡さん。

- ▶準優勝 石郷岡 夏音 (中仙中)
- ▶第3位 大澤 莉空 (角館中)

8月30日、同大会が秋田市で行われ、本市のECC 武家屋敷通り教室から2名が受賞しました。大会では、日頃の練習の成果を発揮し、英語の文章を堂々と暗誦しました。

受賞した石郷岡さんと大澤さんには、トロフィーと賞状が授与されました。

令和8年度 秋田県中学校総合体育大会



左から、須田教育長、佐藤さん、江橋さん、戸澤さん、羽場さん、藤元さん。

- ▶陸上競技 ジャベリックスロー 優勝 戸澤 みな (角館中) 全国大会出場
- ▶柔道 女子個人戦 63kg級 優勝 羽場 仁子 (神代中) 東北大会・全国大会出場
- ▶柔道 男子個人戦 81kg級 第3位 藤元 皇誠 (神代中) 東北大会出場
- ▶水泳競技 男子50m自由形 第4位・男子100mバタフライ 第3位 佐藤 来樹 (西明寺中) 東北大会出場
- ▶ソフトテニス 個人戦 女子 ベスト8 江橋 楓 (西明寺中) 東北大会

角館・神代・西明寺中学校の生徒が、全県総体・東北大会・全国大会で好成績を収め、須田教育長へ出場と結果の報告をしました。

第24回秋田県小学生秋季ソフトテニス大会 (兼) 東北小学生 学年別ソフトテニス大会秋田県予選会



左から、江橋さんのペアの伊藤さん (大館ジュニア)、江橋さん。

- ▶男子5年生の部 優勝 江橋 樹 (西明寺小)
- ▶男子4年生以下の部 第3位 武藤 文之介 (神代小)

8月16日、大仙市で開催された第24回秋田県小学生秋季ソフトテニス大会 (兼) 東北小学生 学年別ソフトテニス大会秋田県予選会において、仙北市ソフトテニスジュニアの江橋樹さんが男子5年生の部で第1位となりました。そのほか、男子4年生以下の部で武藤文之介さんが3位に入賞し、以上2名が、10月4日に山形県で開催される第36回東北小学生学年別ソフトテニス大会に出場することが決定しました。

角館のお祭り おやま囃子コンクール結果

9月8日、佐竹北家上覧時に、各丁内の曳山が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。

厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。

〈敬称略〉

【囃子部門】▶秋田県知事賞 西勝楽町若者 秋月会 代表 古郡力 ▶仙北市長賞 西部若者 秋月会 代表 藤原勇悦 ▶角館のお祭り保存会長賞 東部若者 角館おやまばやし櫻義会 代表 高橋透 ▶田沢湖・角館観光協会会長賞 駅通り若者 愁明会 代表 照島治道 ▶仙北市商工会会長賞 本町通り 神代芸能保存嬉遊会 代表 畑英徳

【手踊り部門】▶秋田県知事賞 西部若者 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▶仙北市長賞 西勝楽町若者 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▶角館のお祭り保存会長賞 本町通り 高橋キヌ子社中 代表 佐藤かおり ▶田沢湖・角館観光協会会長賞 駅通り若者 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▶仙北市商工会会長賞 菅沢丁内若者 穂月会 代表 真崎牧子



善意ありがとうございます

株式会社オーツーコーポレーション 市内小中学校へ 初経セットを寄贈

8月、株式会社オーツーコーポレーションさま（宮城県多賀城市）から、市内小中学校へ初経セット（生理ナプキン、リーフレットなど）267セットを寄贈いただきました。ありがとうございました。



（百寿）おめでとうございます

加藤ミヨノさん

8月30日、加藤ミヨノさん（角館町岩瀬）が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが贈られました。

第56回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会 第31回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会

8月27日、田沢湖畔で「第56回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」および「第31回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」が行われ、男子15校22チーム、女子14校19チームが出場しました。

市内中学校では、男子で角館Aが1位、神代が6位、西明寺が8位、女子では角館Aが2位、生保内Aが3位となり、10月4日に県立中央公園スポーツゾーン内コースで行われる全県駅伝大会に出場します。



市内中学校の成績は次のとおりです。

【男子】1位 角館A／6位 神代／8位 西明寺／10位 角館B／13位 生保内A／19位 生保内B

【女子】2位 角館A／3位 生保内A／9位 角館B／14位 西明寺／15位 生保内B／19位 神代



令和8年度 秋田県和牛改良共進会で大健闘

9月2日にあきた総合家畜市場で「令和8年度秋田県和牛改良共進会」が開催されました。

市内からは5頭出陳し、第3類若雌の1の部では、(株)チクテックが出陳した「みふゆ号」が1等賞を受賞するなど来年度北海道にて開催される「全国和牛能力共進会」に繋がる実りある大会となりました。

成績＜敬称略＞

▶第1類（育成牛の1）2等賞 におう 568号 相馬勲（角館）

▶第1類（育成牛の1）2等賞 そのだ 330号 菅原孝作（角館）

▶第2類（育成牛の2）2等賞 こまくさ 123号 小原洋一（田沢湖）

▶第3類（若雌の1）1等賞 みふゆ号 (株)チクテック（田沢湖）

▶第3類（若雌の1）2等賞 はるな号 (株)チクテック（田沢湖）



第1類に出陳された「におう 568号」と出陳者の相馬勲さん夫婦。



第3類に出陳された「みふゆ号」と出陳者の(株)チクテック。

仙北市の水の未来を支える

～地域おこし協力隊に着任 石井 ゆめみ さん～

仙北市地域おこし協力隊として石井 ゆめみ (いしい ゆめみ) さんが着任し、9月1日に委嘱状が交付されました。

仙北市ではこれまで13人の協力隊員を受け入れ、石井さんが14人目となります。

秋田市出身の石井さんは、東京大学教養学部を卒業し、ソフトバンク株式会社に在職中には、2024年11月から9か月間、仙北市上松木内地区の空き家に住みながら、生活排水を循環させて再利用するシステムの実証実験に取り組んできました。その後、秋田市に戻り、今年2月には浄化槽管理DXと分散化インフラ研究に取り組む会社を起業しています。

人口減少社会の中で仙北市が模索する持続可能な上下水道の実現に自らの知見を活かしたいとの思いから、このたび協力隊に応募したとのこと。

石井さんは、「任期中に地域のいろんな人の話を聞いて、過疎化する中での水インフラの在り方について仙北市が全国の先進事例となれるよう活動にコミットしていきたい」と抱負を語りました。

仙北市の上下水道事業は、急速な人口減少、料金収入の減少、老朽化に伴う更新費用の増大などさまざまな課題に直面しており、従来の集約型の整備から分散化を図るなど上下水道インフラ整備の適正化を図る必要があります。

石井さんは、水インフラコーディネーターとして、浄化槽事業DX化の検討、分散化手法と導入可能エリアの比較・検討、地域の意向調査などの協力隊活動に取り組んでいきます。



濱田謹吾がつないだ、仙北と大村

～大村市少年鼓手濱田謹吾銅像建立 40 周年記念式典～

市では、長崎県大村市と昭和54年(1979年)7月18日に姉妹都市協定を締結し、長年にわたり深いまちづくりと人的交流を重ねてきました。

このたび、戊辰戦争において角館の歴史的町並みを戦火から救い、異郷の地に散った大村藩の少年鼓手・濱田謹吾の銅像建立40周年を記念する式典が大村市で開催されました。当日は、園田大村市長や小林大村市議会議長をはじめとする大村市関係者や吾往会、本市から参加した田口市長や武藤市議会議長をはじめとする市関係者や戊辰会など、総勢71名が式典に参列しました。



濱田少年の銅像は、大村市と仙北市の両市にそれぞれ建立されており、仙北市における濱田謹吾銅像建立40周年記念式典は、令和9年度に開催される予定です。

今回の式典では、改めて濱田少年および大村藩士への深い追悼と感謝の念を捧げるとともに、両市のこれまでの歩みを振り返り、未来に向けた友好の絆をさらに深める記念行事となりました。



新しい仙北市の魅力探し

～関東学院大島澤ゼミ生来仙～

8月24日～26日、関東学院大学経済学部・島澤諭ゼミの学生12人が仙北市を訪れ、市内の魅力を探索する実地調査を行いました。

今年のテーマは、「伝えきれていない仙北市のモノ・コトをSNSで発信しよう。その素材探しのまち歩きをしよう」。学生たちは、事前に仙北市について調べた上で、市内のさまざまな分野で活動する皆さんから話を聞き、地域の魅力や課題について理解を深めました。

意見交換では、「仙北市の食」と「観光・歴史文化」の2つのグループに分かれ、助言者を交えながら話し合いを行いました。



した。学生たちは、それぞれが関心を持ったテーマを掘り下げようと、積極的に意見を交わしていました。

その後は実際に市内を歩き、地域の風景や暮らし、観光資源などを自らの目で見て、仙北市ならではの魅力を探りました。翌日には田口市長との意見交換会も開催され、調査を通じて感じたことや考えを伝えながら、仙北市への理解をさらに深めていました。今回の実地調査の成果は、今後、報告書として仙北市に提出される予定です。



台湾と仙北市、交流の軌跡を一冊に

～『線と線ー秋田記念号』出版記念発表会～

9月3日、角館庁舎で、台湾花蓮富里地区と仙北市の交流の歩みをまとめた地域文化誌『線と線ー秋田記念号』の出版記念発表会が開催されました。

『線と線』は、台湾の青年たちが仙北市での滞在や交流を通して感じた地域の暮らしや文化を、写真や文章で記録した一冊です。今回の秋田記念号には、農家民宿や農業、食文化、自然、人々の暮らしなどが収められています。

発表会では、本誌ができるまでの取り組みの紹介や映像上映などが行われました。また、天賜糧源株式会社のCEO・鍾雨恩氏は「これまでの交流を一冊にまとめることができうれしい。これからも仙北市とのつながりを大切にしたい。」と話しました。

鍾雨恩氏とは平成30年に、(一社)仙北市農山村体験推進協議会の会員と市担当者が台湾現地を訪問し、6次産業と農業関連団体(企業)の立ち上げについて視察したことが縁で現在も交流を続けています。



刊行した本を市に寄贈いただきました。

角館の未来をつくる、歴史の学び

～伝建地区選定 50 周年特別授業 角館中学校～

重要伝統的建造物群保存地区（伝建地区）選定 50 周年を記念し 8 月 26 日に角館中学校で特別授業が行われました。授業では仙北市教育委員会の梅田昌輝参事が講師を務め、伝建制度の概要や町並みを守る理由について生徒たちが意見を交わしました。「観光客を呼ぶため」「お祭りを続けるため」「移住者を増やすため」など自由な発想でスタートした授業ですが、文化財課の加賀谷義丸課長から選定前の貴重な写真紹介や解説を受けると、生徒たちは自らが歴史の担い手であることを深く実感した様子でした。

まとめの場面では、「守ることで新しい伝統ができる」「今まで守られてきた歴史と文化を受け継ぐ必要がある」「子孫や後世にもつないでいきたい」とい力強い意見が多く発表されました。なお、10 月 18 日に開催される記念シンポジウムでは、生徒代表が今回の学習成果を発表する予定です。



仙北市で見つけた、働く・暮らす魅力

～県内留学生などが市内企業や地域の魅力を体感～

市では、国家戦略特区の優位性を活かし、外国人エンジニアや国内の大学で学ぶ留学生などの外国人材の活躍と成長を支援することで、地域経済の活性化を目指しています。

9 月 11 日から 13 日までの 3 日間、県内留学生などを対象としたモニター調査市内視察を実施しました。アメリカやアジアの国々などを出身地とする県内留学生など 9 人が参加しました。視察では、市内企業を訪問し、仕事の内容や職場環境について理解を深めました。最終日には合同企業マッチング会に参加し、市内企業の担当者と働き方や求める人材などについて意見を交わしました。

また、農家民宿での宿泊を通じた地域の方々との交流や、角館のまち歩き、田沢湖でのアクティビティなども体験しました。仙北市の仕事だけでなく、暮らしや自然、文化の魅力にも触れました。

参加者からは、「地域の皆さんとの温かな交流を通じて、ここで暮らすの魅力を知ることができた」「企業を訪問し、直接話を聞くことができ、自分のキャリアを考える良い機会になった」などの声が寄せられました。



外国人留学生などと市内企業が交流

～合同企業マッチング会を開催～

9 月 13 日、外国人留学生・大卒外国人向けの合同企業マッチング会が角館庁舎で開催され、市内企業など 5 社が出展しました。当日は、モニター調査の一環で市内を視察していた県内大学の留学生など 9 人が参加しました。はじめに各企業が仕事内容や自社の魅力を紹介した後、参加者は各企業のブースを訪れ、事業内容やインターンシップについて熱心に話を聞きました。

参加企業からは「秋田県で暮らした経験があり、県内での就職を希望する留学生と直接話すことができ、貴重な機会になった」「仕事に対する考えや希望を直接聞くことができ、外国人材が活躍できる職場づくりを考える参考になった」との声が聞かれました。参加者と企業が互いへの理解を深め、今後のインターンシップや就職につながる交流の場になりました。



しめやかに挙行

～令和 8 年度 仙北市戦没者追悼式～

8 月 26 日、西木温泉ふれあいプラザ クリオンにおいて、令和 8 年度仙北市戦没者追悼式が行われ、仙北市遺族連合会会長をはじめ、市長、市議会議員、遺族の方々が参列しました。

戦争で亡くなられたご英霊のご冥福を祈りながら、参列者の皆さまより献花が行われました。戦後 81 年が経過し、ご遺族の高齢化が進むなか、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝え続けていくことを誓いました。



ニューホーム、仙北市

～巡り合った東北で、新たな挑戦～

仙北市のみなさん、初めまして。今年の 7 月から地域おこし協力隊に就任した、西山伶です！よろしくお願いします。

昨年 2 月、協力隊 OB の溝口真矢さんのリトリートモニターツアーに参加したことが、仙北市を訪れるきっかけとなりました。それから導かれるように自分も協力隊員に。先輩たちに引き続き、この街の活気づくりに貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

生まれは大阪府大分市で、8 歳まで住んでいました。その後、アメリカのコロラド州に移住し、15 歳まで暮らしました。コロラドは日本の東北とよく似ていて、雪もたくさん降ります。冬はウィンタースポーツ、夏は登山や釣りなど、自然の中で遊ぶのが当たり前でした。そんな環境で育ったことも、仙北市で暮らしてみたいと思った理由の一つです。

仙北市に移住したのは 7 月ですが、実は去年の 12 月から田沢湖スキー場でバイトをし、高原で冬を過ごしました。見渡す限り白く、その景色に感動しました。山から見た田沢湖も、本当に綺麗で忘れられません。それにしても、秋田の雪は想像以上でした（笑）。朝から雪かきをする地域のみなさんにも感心しました。僕もみなさんを見習って、冬を乗り越える力を身につけたいと思っています。

仙北市の夏にも惚れました。雪が溶け、鳥の音が聞こえ、植物が生えて、田植えをして、夏が来る。ここまで四季の流れを直接感じられたのは人生で初めてです。「地球に住んでるんだな」というのを実感しました。

そして何より、仙北市に住む人たちの人情深さと、お互いを支え合う姿勢に一番心を打たれました。素晴らしい

い場所に巡りあえたことを、ありがたく感じています。まだまだ学ぶことがたくさんありそうですが、これから仙北市のことをもっと知り、自分にできることを見つけたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



この特集では、仙北市病院事業スタッフへのインタビューを通じて、仕事の魅力・やりがいなどを多角的な視点から掘り下げていきます！

あなたの仕事はどんなことを行いますか？

病院薬剤師は、処方された薬をただ調剤するだけではありません。カルテを確認し、患者さんの病状や検査値、ほかに使っている薬などを踏まえて、「この薬や量で本当に大丈夫か」を確認し、必要に応じて医師に照会や提案を行います。ほかに、患者さんへの薬の説明はもちろん、ほかの医療スタッフへ薬に関する情報提供をするなど、患者さんが薬を安全に使えるよう、薬の面から治療を支えています。

仙北市の病院で働こうと思った理由を教えてください！

この病院を選んだ一番のきっかけは、学生時代に実務実習でお世話になったことです。実習中に、薬剤師が患者さんの治療にどう関わっているのかを実際に見ることができ、「病院薬剤師ってこんな仕事をするんだ」と知りました。また、一緒に働く薬剤師の方々の雰囲気も良く、実習を終える頃には「ここで働けたらいいな」と思うようになりました。地元の病院なので、これまでお世話になった地域の方々の医療に、自分も薬剤師として関わることにも魅力を感じました。

仕事における「やりがい」は何ですか？

薬剤師として、薬の専門知識を生かして患者さんの治療に貢献できたときに、やりがいを感じます。例えば、カルテを読んで患者さんの様子や検査値の変化から、副作用などの薬による影響の可能性にいち早く気づけて、治療に繋がれたときや、患者さんの状態に合わせて薬の量や使い方を調整することを医師に提案し、それがうまくいって患者さんの状態が良くなったときに「薬剤師として役に立てた！」と喜びを感じます。

市民の皆さまへメッセージをお願いします！

旅行やお出かけのとき、お薬は忘れずにお持ちになると思います。では、「お薬手帳」はどうでしょうか。

旅先で急に受診することになったとき、お薬手帳があれば、普段飲んでいるお薬を遠方の医療機関でも正確に伝えることができます。お薬と一緒に薬手帳も持ち歩く習慣をつけて、もしものときに備えましょう。安心してお出かけを楽しむために、お薬手帳は「お出かけのおとも」です！



市立角館総合病院 薬剤科
ふじた ゆうや
藤田 裕陽 さん



生保内中学校の生徒が 広報紙づくりを体験

9月3日、生保内中学校2年生の生徒が職場体験のため仙北市役所を訪れ、広報せんぼくの制作を体験しました。職場体験では、実際に取材へ出向き、話を聞いたり写真を撮影したりしながら、今月号の「広報せんぼく10月号」の記事作成や編集をお手伝いしてくれました。



台湾・澄清湖との交流 40 周年に向けて ～温泉・教育・スポーツで紡ぐ交流～

1987年に田沢湖と高雄市の澄清湖が姉妹湖提携を結んでから、来年度で40周年を迎えます。仙北市は台湾と長年にわたり、温泉・教育・スポーツを通じた交流を深めてきました。これまで築いてきた絆は、行政や事業者だけでなく、ホームステイでの受け入れや学校交流など、市民の皆さまの温かいおもてなしと協力によって育まれてきました。

「北投石」が結ぶ温泉提携協定

「玉川温泉」と台北市「北投温泉」は、世界で2か所しかない希少な鉱物「北投石」の産地であることから、2011年に温泉提携協定を締結しました。2021年には提携10周年を記念して記念碑を玉川温泉に設置するなど、長年にわたり深いつながりと活発な交流が続いています。



温泉提携10周年記念碑。

姉妹校との学校交流

2012年より台湾からの教育旅行の受け入れを開始し、2015年以降は市内の学校と台湾の3校が姉妹校締結。授業への参加やホームステイなど相互交流を重ねています。コロナ禍でもオンラインで友好関係の維持に努め、対面交流が再開した現在も、温かい交流が台湾との絆を深めています。



台湾で学校の入口に大きく歓迎の文字とあわせてお出迎えいただきました。

マラソンを通じたスポーツ交流

2019年に田沢湖マラソンと高雄マラソンは友好交流に関する覚書を交わしました。以来、高雄市からのランナーを招待して、市からもランナーを派遣。お互いに熱いエールのなか走りました。また、高雄マラソンではPRブースを設けて魅力を宣伝するなど、スポーツを通じた交流が両市の友情、さらには誘客にもつながっています。



田沢湖マラソン会場にて招待ランナーの紹介をしている様子。

姉妹湖提携 40 周年プレ事業「台湾旅デビュー応援講座」 ～入門編～

台湾の文化や食、現地での楽しみ方など、台湾出身の講師が分かりやすく紹介します。台湾茶を楽しみながら、まずは台湾を知るところから始めてみましょう！

「いつか台湾に行ってみたい」という方も、「台湾が好き！」という方も大歓迎です。

【田沢湖の回】

日時：11月4日(水) 11:00～12:00 (受付開始:10:30)

場所：思い出の潟分校 1階1・2年教室

【角館の回】

日時：11月5日(木) 11:00～12:00 (受付開始:10:30)

場所：旧石黒(恵)家

※両日とも同じ内容です。

【主催】仙北市国際交流協会

【講師】元仙北市国際交流員 黄敏氏

【定員】各回先着10名(仙北市民限定)

※各回とも定員に達し次第、受付を終了しますのでご了承ください。

【参加費】500円(台湾茶1杯付き)

【申込方法】申込フォームまたは交流デザイン課へ電話でお申込みください。

【申込期間】10月1日(木)～10月23日(金)

【問合せ】仙北市国際交流協会事務局(交流デザイン課)
TEL:0187-43-3353(受付時間：平日8:30～17:15)

申込フォーム

